

(新) 喀痰吸引等研修 (標準コース)

研修期間: 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

【基本研修(講義)】

日程	科目名	内容	時間数	時間	合計
1日目	開校式	オリエンテーション	0.5	8:30~9:00	8.0
	1.人間と社会	1介護職員と医療的ケア	1.5	9:00~17:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		2介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度			
	2.保健医療制度とチーム医療	1.保健医療に関する制度	2.0		
		2.医療行為に関係する法律			
3.チーム医療と介護職員との連携					
3.安全な療養生活	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2.救急蘇生	4.0			
2日目	4.清潔保持と感染予防	1.感染予防	2.5	8:30~17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		2.職員の感染予防			
		3.療養環境の清潔、消毒法			
		4.滅菌と消毒			
	5.健康状態の把握	1.身体・精神の健康 2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど) 3.急変状態について	3.0		
3日目	6.高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	1.呼吸のしくみとはたらき	2.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		2.いつもと違う呼吸状態			
		3.喀痰吸引とは	3.0		
		4.人工呼吸器と吸引			
		5.子どもの吸引について			
4日目	7.高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説(1)	6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	4.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		7.呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)			
		8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認			
		9.急変・事故発生時の対応と事前対策			
		1.喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1.0		
5日目	8.高齢者および障害児・者の経管栄養概論	2.吸引の技術と留意点	4.0	8:30~17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		3.喀痰吸引にともなうケア			
		4.報告および記録			
		1.消化器系のしくみとはたらき	3.0		
		2.消化・吸収とよくある消化器の症状			
6日目	9.高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説(1)	3.経管栄養とは	5.0	8:30~17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		4.注入する内容に関する知識			
		5.経管栄養実施上の留意点			
		6.子どもの経管栄養について			
		7.経管栄養に関する感染と予防			
7日目	7.9.高齢者及び障害児・者の「たんの吸引・経管栄養」実施手順解説(2)	8.経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	4.5	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認			
		10.急変・事故発生時の対応と事前対策			
		1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	2.5		
		2.経管栄養の技術と留意点			
7日目	筆記試験	3.経管栄養に必要なケア	5.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		4.報告および記録			
		1.喀痰吸引の技術と留意点②	3.0		
7日目	筆記試験	2.経管栄養の技術と留意点②	3.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
		60分(30問) 合格90%以上	1.0		

【基本研修(演習)】 受講者が多数の場合日程を分けて実施

8日目	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引 5回以上	7.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	7.0
		鼻腔内の喀痰吸引5回以上			
		気管カニューレ内部の喀痰吸引5回以上			
9日目	経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養5回以上	7.0	8:30~16:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	7.0
		経鼻経管栄養5回以上			
		救急蘇生法			

【実地研修】 第1号研修は5行為すべて、第2号研修は任意の行為(1行為以上)履修

基本研修修了の日の翌日から研修期間最終日まで(基本研修初日から原則6ヶ月)	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引10回以上	/
		鼻腔内の喀痰吸引20回以上	
		気管カニューレ内部の喀痰吸引20回以上	
	経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養(滴下型)20回以上	
		経鼻経管栄養20回以上	